

科目	英語コミュニケーション II	学年	第2学年	開講	通年	必修	4単位
----	----------------	----	------	----	----	----	-----

学習目標	・第1学年で学んだことをふまえ、英文を読み理解し伝えることをさらに深める。 ・教科書だけではなく、英語の小説や新聞を通して、様々な話題に触れる。 ・プロジェクトを通して、各スキルを鍛え、センター試験及びTOEFL試験の準備をする。
------	---

教科書: CROWN English Communication II New Edition

副教材:

学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	題材	言語材料	月	考查	評価の観点			
前期		Lesson1 Lost in Translation	言語、異文化理解、日本文化 プロジェクト: 研究論文	不定詞の意味上の主語 不定詞の受け身 動名詞の受け身	4	中間		○	○	
							○	○	○	
							○	○	○	
		Lesson 2 One Book Can Empowers a Child	教育、国際貢献 プロジェクト: 自分のNPO	動名詞の意味上の主語 不定詞の完了形	5			○	○	
							○	○	○	
							○	○	○	
		Lesson 3 Accessible Japan	多様性、観光、社会貢献 プロジェクト: ディベート	さまざまな分詞構文 強調構文	6			○	○	
							○	○	○	
							○	○	○	
		Lesson 4 Crossing the Border ---Médecins Sans Frontières	国際協力、平和、社会貢献、生き方 プロジェクト: 小説作成	関係副詞の非制限用法 不定詞＋前置詞	7	期末	○	○	○	
			○	○			○			
			○	○			○			
		Lesson 5 Mental Toughness	スポーツ、心理	前置詞＋関係代名詞 無生物主語の他動詞構文	8		○	○		
			○	○		○				
				○		○	○			
		前期 授業評価					○	○	○	
後期		Lesson 6 Walking in Gandhi's Footsteps	芸術、世界遺産、異文化理解、生き方	助動詞＋have＋過去分詞 S is C(C=whether節)	9	中間		○	○	
							○	○	○	
							○	○	○	
		Lesson 7 Why Biomimicry?	科学技術、環境、共生。動植物	if節のない仮定法 未来に関する仮定法 仮定法現在	10			○	○	○
							○	○	○	
							○	○	○	
		Lesson 8 Invisible No Longer	人権、共生	be to＋不定詞 結果を表す不定詞	11			○	○	○
							○	○	○	
							○	○	○	
		Lesson 9 Nudges	生活、経済、日常生活	未来進行形 未来完了 受け身の進行形	12	期末	○	○	○	
								○	○	○
								○	○	○
		Lesson 10 Are We Alone?	宇宙、科学	独立分詞構文 倒置	1			○	○	○
							○	○	○	
							○	○	○	
				2			○	○	○	
					○		○	○		
					○		○	○		
		後期 授業評価					○	○	○	

評価の観点	「英語表現Ⅰ」で学んだ学習内容を本科目の言語活動において活用したり、自分の考えなどを表現する際にそれらを話したり書いたりして表現できるような段階まで定着できているか。
-------	---

4 観点別評価の評価基準

3観点	評価方法	
知識・技能	・定期考査70%・小テスト30%	英語を読み・書き・話すために必要な音声・語彙・文構造・文法を理解し、英語を運用するための技能を身につけていること。
思考・判断・表現	・定期考査20%・プロジェクト60%・読書20%	さまざまな課題を通して身につけた知識や技能を使って、英語を読み、聞いたときに、内容の概要や要点を把握できること。自分の意見や気持ちを英語では無し、書いて、相手に伝えることができること。
主体的に学習に取り組む態度	・授業態度や意欲60%・読書40%	・英語を勉強する意義や必要性を理解し、実際に使ってみようとする意欲や態度・自分の英語力や学習状況を把握し、学習方法などを自ら改善しようとする態度。・設定された期限までに課題を完成させるのに必要な時間管理能力。